



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

●ある月刊誌に掲載された作品です。



・何という題名の雑誌でしょう。

・1978年に雑誌にドイツ人作家が書いた「小さな飼育係。としまうま」というお話の挿絵として描きました。雑誌掲載された後、ドイツ人作家の短編を集めた絵本にもなりました。何という絵本でしょう。

*パステル調の色合いで知られる葉祥明さんですが、この作品は少しくすんだ色合いで落ち着いた雰囲気です。ヨーロッパの絵本をイメージしてわざとグレイッシュな色合いで描いています。

●ある画集の作品です。

・葉祥明さんは基本的に特定の場所を描くのではなく「心象風景」として風景画を表現しますが、この作品にはイメージした場所があります。どこでしょう。

・画の中に横に流れる筆跡が見られます。大地の横線により遠近感を感じ、空の柔らかい線からは空気の流れを感じます。葉祥明のこの空間表現は、アンパンマンの作者で知られるやなせたかし氏に「●●を描く画家」と評価されます。●●はなんでしょう。



*寒い雪国を描いている作品にも、葉祥明さんの絵には暖かみを感じます。「青や白の中に少し黄色を足す」そんな工夫をしています。シンプルな作品の中にも、様々な工夫があります。

● 「White Moon」という、様々な場面の月を描いた絵本の一場面です。



・この月の絵本には「愛」の詩が添えられています。
左の絵に添えたれた詩で ●●、○○、■ ■に入る言葉は何でしょう。

愛は●●で穏やかです
愛は○○を乗り越えさせ
すべてを■ ■とします



・このをみて、自分で詩を書いて見ましょう。

* 葉祥明さんの作品には、観る人が入り込む「余地」があります。絵の中に風や空気、太陽の暖かさを感じることで、自身の感覚や感性が磨かれるかもしれません。
ゆっくりと静かに鑑賞してみましょう。